

2025 年 1 月 5 日、 新春のランドマークで能・狂言！

これで 99.9%眠くならない！

横浜能楽堂普及公演「眠くならずに楽しめる能の名曲」@ランドマークホール

2025 年 1 月 5 日(日)、横浜能楽堂は、休館中の拠点とするランドマークプラザで、新春の幕開けを祝し「眠くならずに楽しめる能の名曲」@ランドマークホール 公演を開催します。

よく「眠くなる」と言われる能。しかし、眠くならずに楽しめる曲もあります。

今回は、桜満開の清水寺を舞台に、坂上田村麿(さかのうえたむらまろ)の鬼神退治の活躍を描いた「田村(たむら)」を取り上げます。

狂言は、新年にふさわしいおおらかな笑いに満ちた「筑紫奥(つくしのおく)」をお送りします。

上演前に、曲をより楽しむためのポイントを解説。また上演中に、お手元のスマホへ字幕解説(日英)をリアルタイムで配信。能は初めてという方でも楽しめます。

「眠くならずに楽しめる能の名曲」は、横浜能楽堂の定番公演として毎年のように実施していた人気事業です。2 年ぶりにランドマークで復活となります。

【プログラム】

トーク「知られざる清水寺」 中村 雅之(横浜能楽堂 芸術監督)

狂言「筑紫奥」(大蔵流) 山本 則秀

能「田村」(宝生流) 和久 莊太郎



お問合せ：横浜能楽堂（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団）

広報担当：宮野、事業担当：大瀧

TEL：045-263-3050 FAX：045-263-3031 E-mail（代表）：nougaku@yaf.or.jp

公演概要

【開催日】 2025 年 1 月 5 日(日)

【開 演】 14:00 (開場 13:30、終演予定 16:40)

【会 場】 ランドマークホール (横浜市西区みなとみらい 2-2-1 ランドマークプラザ 5 階)

【入場料】 4,000 円 (全席指定)

【チケット取扱】

電話 0120-240-540 (カンフェティ 平日 10:00~18:00)

WEB <https://yokohama-nohgakudou.org/ticket/>

※発売 9 月 30 日(月) 12:00~

曲目解説

狂言「筑紫奥」(つくしのおく)

筑紫の国の百姓が年貢を納めるために上京する途中、丹波の国の百姓と出会い、ともにめでたく年貢を納めます。褒美に万雑公事(諸課税)を免除されますが、二人は喜んで大声を上げたため、叱られてしまい、今度は難題を突き付けられますが……。

狂言の中には「百姓物」と呼ばれるが年貢を納め、諸課税を免除されるめでたさを描いた作品があります。本作も正月に相応しい大らかな笑いに満ちた曲です。

能「田村」(たむら)

旅の僧が春爛漫の京都・清水寺を訪れます。すると花守の童子が現れて清水寺の来歴を語ります。そして、僧に見えわたる都の名所の数々を教え、桜満開の春の景色をめでます。僧が名を尋ねると、童子は自分の帰る方を見るように告げ、田村堂へと姿を消します。

夜になり、僧が読経をして待っていると、坂上田村丸が、かつての武将姿で現れます。そして、伊勢・鈴鹿山で鬼神退治に赴き、清水寺の本尊・千手観音の力により退治を成し遂げたことを物語るうちに夜は明けていくのでした。



能「田村」内藤飛能 (©宝生会)



能「田村」内藤飛能 (©宝生会)

出演者プロフィール

和久 莊太郎（わく そうたろう）

シテ方宝生流。1974 年横浜市生まれ。故宝生英雄 18 世宗家および故宝生英照 19 世宗家に師事。国内各地で舞台をつとめるほか、海外公演にも多数参加。同門会「涌宝会」および個人演能会「和久莊太郎 演能空間」主宰。重要無形文化財総合認定保持者。



山本 則秀（やまもと のりひで）

狂言方大蔵流。1979 年生まれ。山本則俊の次男。父および四世山本東次郎に師事。能狂言を次世代に受け継ぐべく、公演のみならずワークショップ、児童・学生への指導など多岐にわたり活動を展開する。重要無形文化財総合認定保持者。



能楽鑑賞多言語字幕システム「能サポ」による字幕解説について

舞台の進行に合わせて、お手持ちのスマートフォン・タブレットに解説が表示されます。

※事前に G マークアプリのダウンロードが必要です。

※対応言語：日本語・英語 ※すべての席でご利用いただけます。

※能サポは絵書店が提供する能の多言語字幕サービスです。

横浜能楽堂[～2026 年 6 月まで休館中]

横浜能楽堂は 1996(平成 8)年 6 月、西区紅葉ヶ丘・掃部山公園の一角に開館した、能・狂言を中心とした古典芸能の専門劇場です。

2024 年 1 月からの大規模改修工事の期間中、能・狂言をもっと広く知っていただくために、ランドマークプラザ 5 階にギャラリーとショップを兼ねた「OTABISHO 能楽堂」を開設しています。能面や装束等の展示のほか、2024 年 10 月から初心者向けの講座もスタート。

また市内各所で公演、ワークショップも実施しています。



OTABISHO 横浜能楽堂 外観